

平成26年度 市民事業交流会 企画案

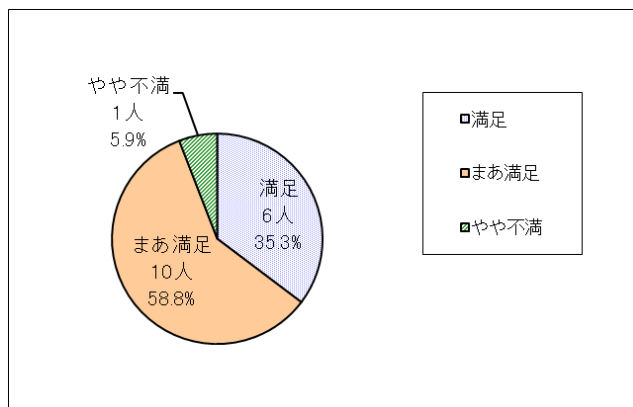
方 式	市民団体活動展
目 的	①補助事業者相互のネットワークづくりを通じた市民事業の拡大・拡充 ②補助事業者と他の市民団体等との交流の促進 ③県民に対する市民団体の活動の広報
内 容	①団体ごとのブース出展（活動内容紹介パネル展示等） ②活動紹介チラシ、グッズの配布 ③昨年度実施して好評であった、ワールドカフェ方式による意見交換会 など
開催候補日 時	平成26年10月～11月の休日 11時～17時頃 →開催日候補 10月19日（日）
会 場	新都市プラザ(そごう横浜店地下2階正面入口前) 9階ミーティングルーム
特記事項	○H24～25年度実施。 ○人通りの多い場所で活動展を実施するため、納税者である <u>県民に対し団体活動を直接アピールすることができる。</u> ○市民団体同士の交流を促すことができるため、 <u>ワールドカフェ方式による団体相互の意見交換は好評（満足14%、まあ満足72%）であった。</u> ○来場者への水源施策の紹介・解説がメインとなり、過去に実施した中間報告会や現地検討会と比較して、 <u>補助団体相互の交流時間が少ない。</u>
昨年度のアンケート結果(抜粋)	<主な意見> Q 2 本日の交流会（意見交換会）はいかがでしたか。 ・ワールドカフェ方式を実践できたこと。これからワークショップ時にこの手法を取り入れます。 ・それぞれの団体がどんなことをやり、問題点として何があり、どう対処しているかなど知りたかった。 Q 5 今後、交流会を開催する場合、どのような内容を希望しますか（複数回答可） ・今回のようなワールドカフェ。

平成25年度市民事業交流会 アンケート集計結果(出展団体)

今後の取組の参考とするため、交流会に参加いただいた市民団体にアンケートをお願いし、ご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…17枚 (市民事業交流会出展団体：15枚 意見交換会のみ参加団体：2枚)

Q1 本日の交流会(市民団体活動展)はいかがでしたか。



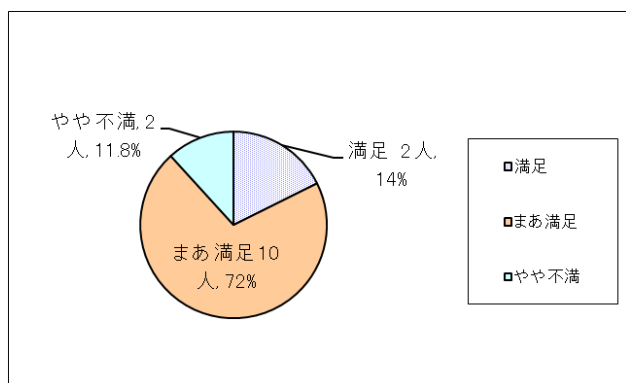
満足できた点の主な意見

- ・水を大切と考えている県民との出会いの場になり、会話を通じて啓発できた。
- ・展示パネルの他に説明用の実物、実演が出来てアピール出来た。
- ・参加された各団体の多面的な熱い活動を知る切り口となった事。
- ・インタビュー。
- ・ブースに立ち寄ってくださった方々と話すことができ、水源環境に興味を持っている人がたくさんいることが分かった。

不満だった点の主な意見

- ・竹扱い団体の隣接があり、配置の再考。
- ・団体が何をされているのかを知る時間が欲しかった。
- ・イーゼル等を貸出して欲しい。
- ・開催時間が長い。
- ・事前説明会を開き、万全期するべき。
- ・インタビューの趣旨は良かったが、ほとんどの人が聞いていなかった。
- ・立ちっぱなしだったので、疲れた。イスがあった方がよい。

Q2 本日の交流会(意見交換会)はいかがでしたか。



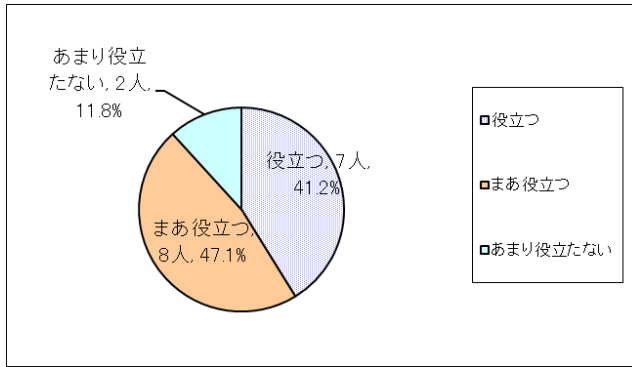
満足できた点の主な意見

- ・ワールドカフェを実践できたこと。これからワークショップ時にこの手法を取り入れます。
- ・自分たちの抱えている問題点を知ることができた。
- ・他の団体と話し合えた事と、改善要望の話し合いができてよかった。
- ・斬新な試みの中で他団体との意見交換ができた。
- ・今後の活動に生かせそうなアイデアをもらうことができた。

不満だった点の主な意見

- ・それぞれの団体がどんな事をやり、問題点として何があり、どう対処しているかなど知りたかった。
- ・目的がなんであるか不明確である。
- ・テーマとは関係ない雑談が多かった。

Q3 本日の交流会は今後の活動に役立ちますか。



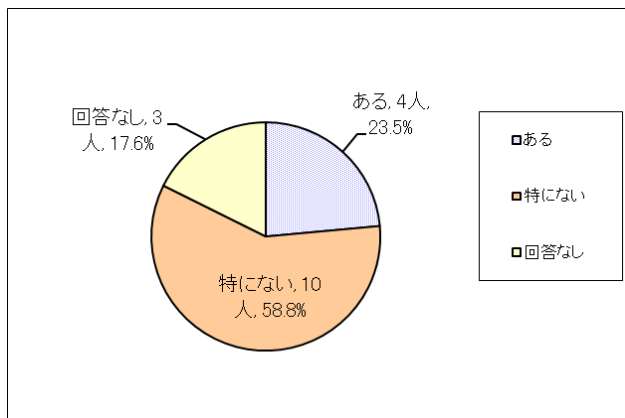
良かった点の主な意見

- ・資金面では団体共通事項で、参考になる。他の団体の情報が聞け、自分の団体運営の参考になった。
- ・ブースに展示した物の反響が分かり、今後の展開の参考になった。
- ・多岐の分野で実践活動に取り組む団体間の交流の場ができた事。
- ・急展開は見込めないかもしれないが、少しずつ認知され、変化が出てくると思う。

悪かった点の主な意見

- ・技術面の団体との交流がなかったので、技術面を重視した組み方も必要では。
- ・立ち話での対応となり10時～16時30分の長時間は疲れる、椅子が欲しい。

Q4 出展内容が特に良かった団体はありますか。



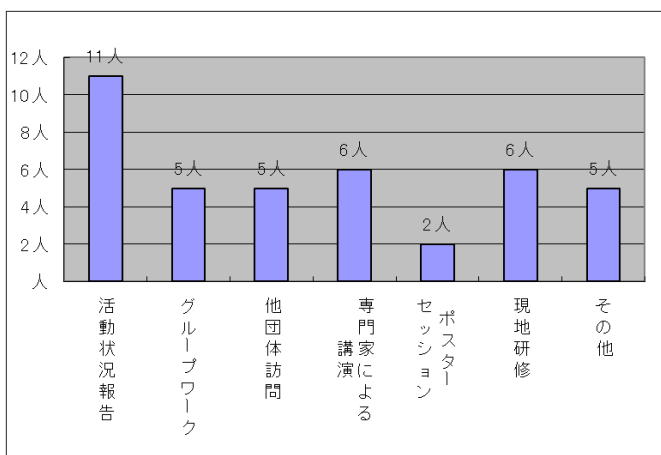
良かった団体と主な意見

- ・NPO法人神奈川県環境学習リーダー会
→きれいな川に住む小さな水性生物を実体顕微鏡で実際に見て頂いていた事。
- ・NPO法人日本の竹ファンクラブ
→説明資料もまとまっていて、展示品もあり良かった。
- ・NPO法人海の森・山の森事務局
→パネルでのアピールが印象的であった。
- ・丹沢森林環境研究所
→水質調査を使い分かり易く実演できた。

その他意見

多様なジャンルの活動団体が出展している事から、良否の判断は意味がない。

Q5 今後、交流会を開催する場合、どのような内容を希望しますか(複数回答可)



その他で寄せられた意見

- ・今回のようなワールドカフェ。
- ・県側の意見なども聞きたい。
- ・もり・みずカフェ開催の事前協議会と併せて交流会を行う。
- ・団体全体での意見交換会。
- ・神奈川県の水源環境保全・再生にかかわる市民活動のあり方のグループワーク。

Q6 その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

寄せられた主な意見

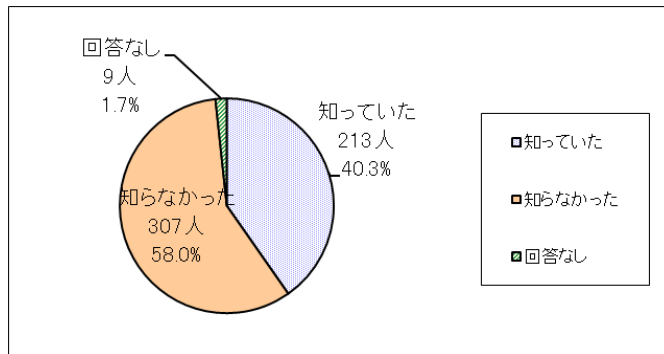
- ・来場者は高齢者が多かった。若い方の来場する場所の選定が必要。
- ・会場は良い場所でしたが、各団体の占有面積が狭く、PR掲示物が出せなかった。
- ・学校への出前授業でPR活動を行って欲しい。
- ・行きかう人を誘い込む事の難しさを痛感しています。定年後の男子が次の生きがいに自然との共生を含めて、活動をする機会作りをしたいと考えている。
- ・活動展に関しては、全体的な統一が見られなかった。また、税金によって県から補助金を頂いている団体の集まりであることが、一般の方々に分かりにくかった。補助金申請の際プレゼンの様なものが、一般の方たちに向けて行われるような場があっても良いのではないか。
- ・意見交換会に関しては、横の連携と築ける場が欲しかった。団体がどの様な手法で活動しているのか、またどのような問題を抱えて、どの様に対処しているか等を、具体的に知ることのできる場も欲しかった。時間を十分に取った意見交換会の開催を希望します。
- ・農繁期を避けて頂きたかった。活動が最も忙しい時期で、人員不足になってしまった。
- ・インタビューは、簡単な舞台などを作って行った方が良かった。誰が何処で話をしているのか分からなかった。
- ・各団体発表者用に、椅子があると良かった。
- ・各団体のブースとの境目が曖昧で、他の団体の事を聞かれる事もあった。何のイベントをやっているかアピールのアナウンスを流しても良かったのではないか。
- ・展示方法に制約があり自己特色が出せなかった。事前調整を行い(各団体の展示方法の意向を聞き)、効果ある魅力ある展示方法を展開すべき。長時間立ちっぱなしで疲れたので、椅子を用意するか、休憩場所の確保が必要(休憩所でのコミュニケーションも必要)。
- ・団体活動紹介インタビューは、当事者しか聞いていないので、不要だと思う。
- ・意見交換会の充実をお願いします。他の団体の運営方法や、会費、会員増加対策、色々と工夫している事柄、困っていること等が話し合えるようにして欲しい。
- ・すぐ近くにスピーカーが設置されていた為、インタビューしている時は煩くて説明が出来なかった。一日中立っての説明だった為、休憩用のイスが欲しかった。
- ・多くの人達にブースに立ち寄ってもらい、活動を紹介する事が出来た。他の団体の出展内容をじっくり見られなかった。
- ・交流会は、今後も実施して欲しいが、開催時期、会場等について、関係団体間の意見集約の場をセットして欲しい。
- ・もう少し広い展示ブースを希望します。
- ・展示スペースが狭すぎる。荷物置き場や休憩所があった方が良い。
- ・アンケート回答者に配るものは、選択肢を無くして、森林に対する関心を惹くような物を用意してみてもどうか。

平成25年度市民事業交流会 アンケート集計結果（県民）

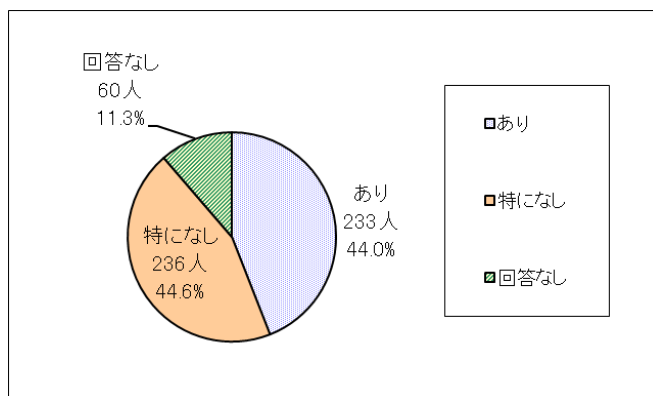
今後の取組の参考とするため、交流会にご来場いただいた県民の方々にアンケートをお願いしたところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…529枚

Q 1 市民団体が水源環境保全・再生の活動を実施している事を知っていましたか。



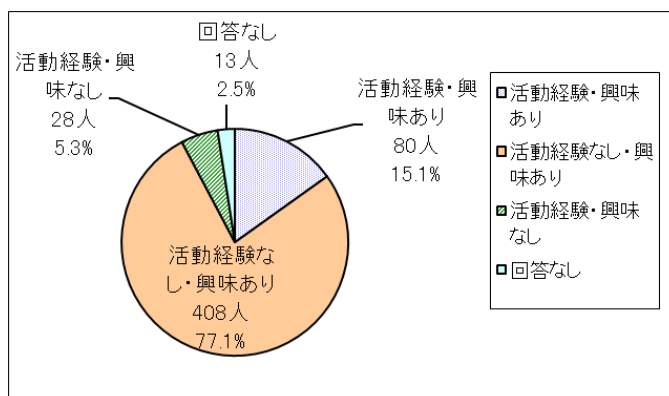
Q 2 出展内容が特に良かったという団体はありますか。



特に良かった団体(上位8団体まで)

団体名	票
NPO 法人自遊クラブ	31
NPO 法人丹沢森の仲間たち	20
NPO 法人かながわ森林インストラクターの会	18
NPO 法人日本の竹ファンクラブ	18
丹沢森林環境研究所	17
NPO 法人海の森・山の森事務局	17
海老名里山づくりボランティア山仕事の会	15
中津川仙台下クラブ	15

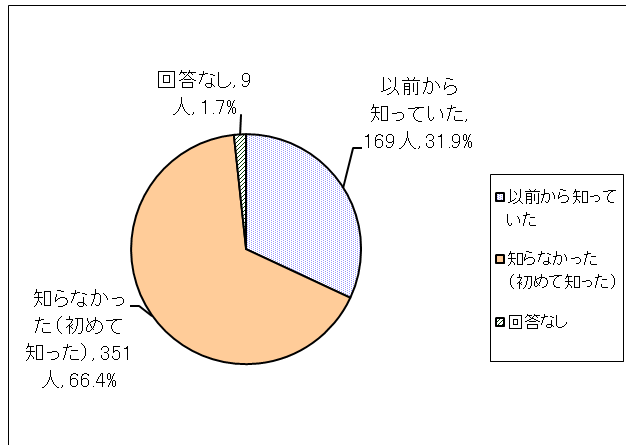
Q 3 水源環境保全のための市民活動を行っていますか（過去の経験を含む）。
また、こうした活動に興味がありますか。



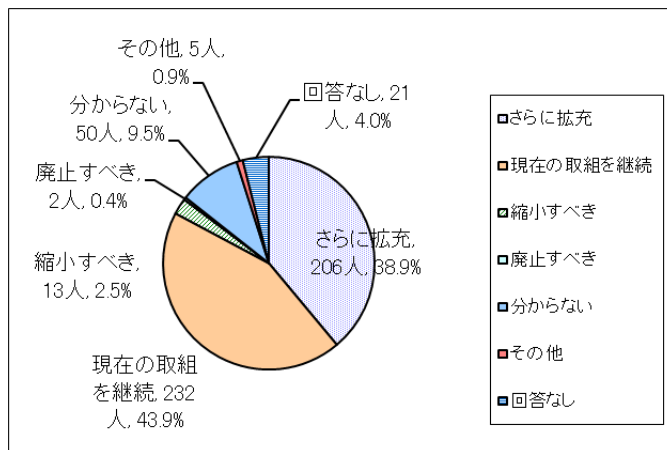
具体的な活動内容(「経験あり」回答者)

- ・川のゴミ拾いをしていた。
- ・県民参加の下刈、植樹、間伐等。

Q 4 県では、個人県民税の超過課税（水源環境保全税）を財源に、水源環境保全・再生のための取組を行っています。このことについて、ご存知でしたか。



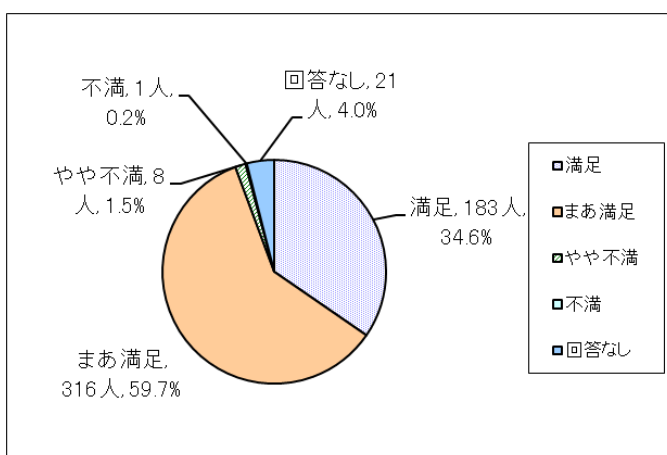
Q 5 「水源環境保全税」を活用した水源環境保全・再生事業は、今後どうしていきべきだと思いますか。



「その他」回答者の主な意見

- ・緑地の購入。
- ・今現在の取組が分からないので意見が言えないのですが、縮小はすべきではないと思う。
- ・ボランティア団体の活動をもっと県がPRして欲しい。

Q 6 本日のイベントはいかがでしたか



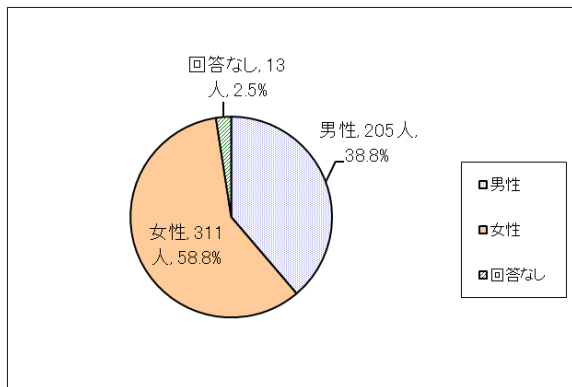
「満足できた点」の主な意見

- ・NPO法人の皆様の熱心な取組の説明を聞いて、改めて関心を持つことができました。
- ・水源環境を守る為に多くの団体が活動している事を知ることができた。
- ・都市部で活動している団体と、水源地域のNPOと連帯出来る可能性が見えてきた。
- ・色々な人達が森や水を守り、活動している事を知り、いい機会だった。
- ・楽しみながら交流出来て、役立てる事は良いなと思った。

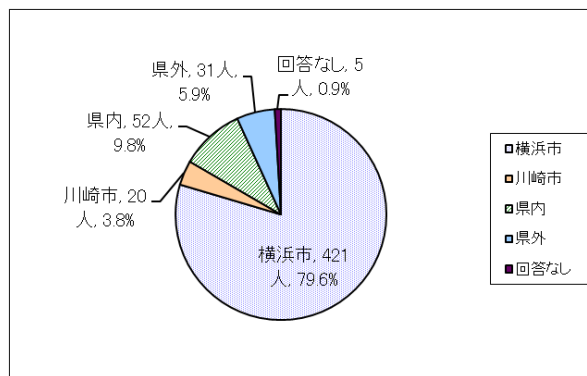
「不満だった点」の主な回答

- ・場所が狭かった。
- ・ビデオやメディアをもっと活用できればリアリティが沸くと思う。
- ・現実的に何を活動しているのか分からない団体がある。
- ・もう少し子供が参加できるイベントがあっても良かったと思う。

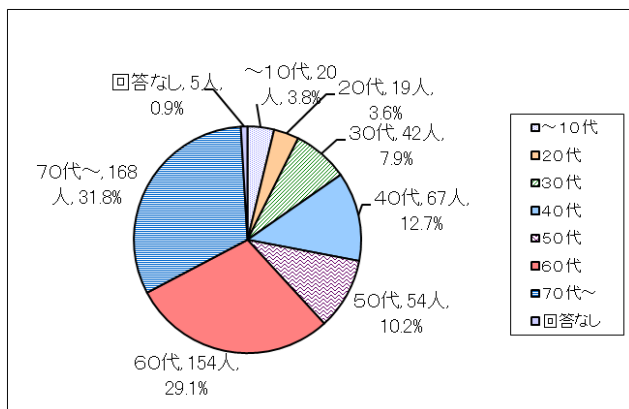
Q 7 性別



Q 8 お住まい



Q 9 年齢



平成 25 年度市民事業交流会 ワールド・カフェ出された主な意見

第 1 ラウンド【現在実施している活動をより発展させていくためには、何が必要か】

- ・継続する為にも、人員を確保する上でも、活動資金がないと継続も出来ないし、人も繋ぎとめることができない
- ・会員に対する、わずかな報酬
- ・補助金は半期で精算して欲しい
- ・食費は常識的な範囲として認めて欲しい
- ・寄付金、助成金にたよりすぎない
- ・理念（ミッション）が大事
- ・問題意識の共有
- ・ボランティア（手弁当）では人材があつまらない
- ・食糧費が削られたのはきつい（水は出すがお弁当までは難しい）
- ・情報発信
- ・継続する人を集める。学生など若い人。大学のゼミ。タダでは来ない。
- ・活動の継続。会員同士の交流。会員の確保。人集めをどうするか。
- ・意見の違う人が集まる→魅力ある会にする。
- ・コミュニケーション（他人の意見を否定しない）
- ・お互いを認め合う。否定しない。

第 2 ラウンド【それらを実現するため・実行するためのアイデア】

- ・目標の共有
- ・ネットワークの確立
- ・助成金の活用→行政を活用する→地域とのコンタクト
- ・自治体の補助金等を積極的に活用
- ・行政からイベントの委託→資金にする
- ・効果の評価を行う
- ・企業へのアプローチ、企業CSR活動とのマッチング
- ・企業も社員をボランティアとして出している＝金と人材
- ・中小企業も支援するところがあるかもしれない
- ・都市部の人を森へ呼ぶ
- ・震災の後は子供のために環境に関心が高くなっている。特に母親の意見が高い
→小さな地域単位で子供づれをターゲットにイベントを行う
- ・イベントを開催して人を集める
- ・農業再生→特産物販売→資金を得る
- ・整備だけではなく、物づくりも→人との交流、製品の販売利益
- ・アイデア募集
- ・意見交流
- ・竹林の整備とともに竹細工の教室を開催→資金を得る